

**No. 1** 乳児の愛着の個人差の査定法に関する次の文中のア～ウに入る語が  
いずれも正しいのはどれか。

エインズワース (Ainsworth, M. D. S.) は、 という標準化された実験手  
続によって、乳児の愛着のパターンを以下の三つに分類した。第一は (A  
型) であり、これは、親との分離場面で情動的な反応 (泣く・わめく) を示さず、  
親を積極的に求めないタイプである。第二は安定型 (B型) であり、これは、親  
との分離時に多少泣いたりして混乱を示し、再会時には親に積極的な身体接触を  
求めるタイプである。第三は (C型) であり、これは、親との分離時に非  
常に強い不安や混乱を示し、再会時には親に強い身体接触を求めると同時に親に  
対して怒りを示すタイプである。

	ア	イ	ウ
1. ストレンジ・シチュエーション法		回避型	抵抗型
2. ストレンジ・シチュエーション法		自己愛型	双極型
3. ストレンジ・シチュエーション法		自己愛型	抵抗型
4. 馴化・脱馴化法		回避型	抵抗型
5. 馴化・脱馴化法		自己愛型	双極型

**正答番号 1**

(専門試験 心理)

No. 2 印象形成における光背効果に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 他者がある側面で望ましい（又は望ましくない）特徴をもっていると、その評価を当該人物に対する全体的評価にまで広げてしまう傾向のことである。
2. 他者の性格や行動傾向を推測するときに、親や師などの関係者に対する評価を当該人物にまで適用してしまうことである。
3. 他者の性格や行動傾向を当該人物の人種、性別、所属集団などの特徴から推測してしまう傾向のことである。
4. 他者の性格や行動傾向を推測するときに、当該人物との最初の接触時の情報が後々まで強い影響を及ぼすことである。
5. 他者の性格や行動傾向を推測するときに、当該人物自体の特徴だけでなく、接触した場所の特徴が強い影響を及ぼすことである。

正答番号 1